



肺の生活習慣病 COPD

(慢性閉塞性肺疾患)

Chronic (慢性)

Obstructive (閉塞性)

Pulmonary (肺)

Disease (疾患)

の頭文字で表す肺の病気です。国内におけるCOPDの患者数は40歳以上で530万人と推測されています。今後とも増加していくと考えられ、4年後には全世界の死亡原因のなかでも、3番目に高くなる事が予測されています。

■どんな病気？

COPDの最大の原因は「喫煙」です。数百種類の有害物質を含んでいる「たばこ」の煙により、空気の通り道である気管支に炎症を起し気管支が狭くなったり、痰も多くなることで空気の通り道が十分に確保できなくなり、また、肺胞が炎症により壊れてしまい、呼吸がしにくくなる病気です。

■こんな症状はありますか？

- ・少しの動作で息切れがする
 - ・頻繁に咳や痰がでる
 - ・息をすると「ゼーゼー」「ヒューヒュー」と音がなる
- ※40年近くかけて悪くなっていくことが多いため、症状が出て「年のせい」「風邪のせい」と思われがちですが、放置しておくこと自分で呼吸することさえできなくなってしまう。
- 症状が続く場合は、呼吸器(内)科等の専門医を受診し、きちんと診断・治療を受けることが大切です。

■治療が必要ですよ

(治療の方法)

①禁煙

破壊された肺胞は元には戻りません。そのため、残った肺の機能を維持するため禁煙は欠かせません。

②薬による治療

主に吸入するタイプの気管支を広げる薬を使います。

③呼吸リハビリテーション

持久力や筋力をつける「運動療法」を行ないます。筋力が付くことで少ない酸素で楽に体を動かせたり、呼吸ができるようになります。

④感染予防

風邪、インフルエンザ等で急性増悪しないように予防しましょう。

■症状がない方も

症状がなくても、年に一回は検診を受けて、自分の体の状態を知ることが大切です。

結核・肺がん検診のご案内

希望する検診どちらか1つを受診することができます。お申し込みがまだの方は、健康づくり課までご連絡ください。

■胸部レントゲン検診

- ①レントゲン検診 (検診車にて間接撮影)
- ②喀痰検査 (喫煙本数が多く、問診にて必要と判断された方で、3日間の痰をとり、肺がんの細胞が混じっていないか調べます。)
- ・対象者 40歳以上の市民
- ・料金 無料
- ・検診期間 8月17日(水)~31日(水) (土、日を除く)
- ・検診方法 検診票に記載されている各会場へ直接お越しください。

■らせんCT検診

- 検診車で胸部をらせん状に撮影するCT検査
- ・対象者 40歳以上の市民
- ・料金 4,000円 (今年度40・50・60歳になる方は3,000円)
- ・検診日 7月11日(月)、8月2日(火)・3日(水)、10月19日(水)・20日(木)

▼問い合わせ先 健康づくり課 健康支援係

